

世界と勝負する産業基盤

未来を創る、産業集積地・おおいた

大分県座談会 2026

半導体・自動車・医療機器・エネ関連など産学官連携を推進

大分県は多様な厚みのある産業集積地として国内外から注目を集めている。台湾積体回路製造(TSMC)の進出を契機に九州の半導体関連産業が活性化される中、その存在感が高まる。今回、佐藤樹一郎知事をはじめ産学官のキーパーソンをお招きし、ビジネス拠点としての大分県の強みや将来性について討議した。

大分県の産業特性

「大分県の産業特性などを教えてください。」
佐藤 本県は鉄鋼や化学、石油、非鉄金属、自動車、半導体関連など、幅広い産業分野で国内有数の企業がバランスよく立地しています。進出企業と地場企業がともに発展し、産業集積が進んできました。大分市に九州唯一の大分石油化学コンビナートが立地し、県内経済をけん引しています。

歴史的にも大分市は産業集積が商業や観光、文化的にも結びつくような地域の魅力があります。戦国時代に豊後府内(現大分市)を拠点とした大友宗麟は、南蛮貿易を振興。西洋の技術や異文化をいち早く取り入れて南蛮文化が花開きました。新しいモノを取り入れる地域性は現在にも息づいており、ドローン産業振興に向けた全国初の企業会「大分県ドローン協議会」を2017年に創設。半導体や自動車、医療機器、エネルギー関連などの企業会もあります。異業種が集まり、産学官連携を強めた推進組織の

活動は全国的にも珍しいことだと思います。

菅原 当社大分事業所は、大分市で東芝大分工場として1970年に操業を始めました。以来55年にわたり自動車や民生分野などで利用されるアナログIC、マイコン、パワー半導体を製造してきました。設立は2016年。当時の岩手東芝エレクトロニクスと統合し、10年目を迎えます。大分での事業メリットは二つあります。他地域に比べて安い電力と上質な工業用水です。生産する製品は主に東芝の半導体製品ですが、設立当初から他社製品を製造するファウンドリービジネスにも取り組む。現在は売上高の約3割を占めるまでに成長しています。

注力する車載半導体は、厳格な品質管理と高品質な製品の長期間にわたる安定供給が求められるため、お客さまの要求に際するため、製造ラインの品質管理をはじめ、24時間体制で解析・分析を行う解析センターを設置し、ゼロデフィエクト(不良ゼロ)を追求する品質改善活動を進めるなど、大分での事業展開するメリ

と、メイド・イン・ジャパンのモノづくり力向上に努めています。

山田 当社は1969年に操業開始いたしました。25年1月にレゾナックから独立し、石油化学事業会社としてスピンオフ市場を目指しています。石油化学事業は石油や液化石油ガスなどを原料として合成樹脂や合成繊維など、さまざまな化学製品を製造しています。自動車や家電、衣料品といった幅広い分野で使用されています。



大分県知事
佐藤 樹一郎 氏

国内有数企業がバランスよく立地 安い電力と上質な工業用水が魅力

菅原氏
佐藤氏

物流コスト抑えるアジアに近い良港 スピード感ある開発、挑戦できる環境 協働して価値を生み出す力を育成

山田氏
村井氏
渡辺氏

出席者	
大分県知事	佐藤 樹一郎 氏
大分大学 理事 (教育担当)・副学長	渡辺 博子 氏
ジャパンセミコンダクター社長(大分県LSI クラスター形成推進会議会長)	菅原 毅 氏
クラスケミカル取締役執行役員 大分コンビナート代表(大分コンビナート 企業協議会副会長)	山田 暢義 氏
FIG社長	村井 雄司 氏
(司会)	日刊工業新聞社西部支社長 大神 浩二

あることです。また優れた港湾施設がありますので船を使い、さまざまな原料を調達、製品を輸出できます。立地の面ではアジアのマーケットに近く、物流コストを抑えることができます。

村井 当社は生まれも育ちも大分県。IoTモノのインターネット)とモノづくりを基盤とした企業グループでプライム市場に上場しています。タクシーやバス、物流など、企業間取引(B2B)向けにデジタル変革(DX)を支えるソリューションを提供するモバイルクリエイト(大分市)、半導体やロボット関連のREALYZE(リアルイズ、大分市)、ホテル向けスマートシステムを開発するケイティーエス(杵築市)の3社を中心に事業を展開しています。ソフトウェアにとどまらず、ハードウェアやネットワークまで含めた技術を提供する。企画・開発から製造、販売、運用、保守までをワンストップで提供できる点が特徴です。

特にスタートアップとしてご支援いただいていたモバイルクリエイトは、当初から上場を目指し02年に起業しました。インターネット・プロトコル(IP)無線を利用したタクシーの配車システムを起点に、IoTを活用した移動・交通分野のサービスを開発してきました。

大分での事業メリットは、各事業領域のグループ会社が立地しているため連携が取りやすく、スピード感ある開発やチャレンジができる点と存在感です。上場しているも首都圏だと埋もれてしまいま

す。大分に本社機能を持つIT系の情報通信企業があるんだということが学生にも訴求力があります。

渡辺 大分大学は24年に75周年を迎えた国立総合大学として、地域の課題解決に取り組み人材や知識、方法、技術が集まる地域コミュニティの中心的存在として教育、研究、医療福祉、地域連携を一体的に進めてきました。学生数は約5500人、教職員数は約2150人で大学の将来構想として「大分大学ビジョン2040」を掲げています。急速に進む人口減少、産業構造の変化、デジタル化やグローバル化といった社会変動を見据え、自らも改革しながら地域に根づき、さらに地域のさまざまな課題の解決や持続可能な社会の有様を提案、推進できるインテリジェント・ハブとしての機能を高めることを目指しています。

特に教育分野は「持続可能な多様性にあふれる社会を創生する人材を育てるための開かれた学びの創造」をテーマに、「社会変革を創生する人材の育成」「世界と地域をつなげるグローバル人材の育成」「インクルーシブ社会に向けた学びの機会の提供」を3本柱に未来指向型教育を創出しています。具体的には、学部・大学院の専門教育に加え、教養教育、STEMAM(科学・技術・工学・芸術・数学)教育、データサイエンス、地域課題解決型学習などを横断的に取り入れ、正解のない課題に向き合い、他者と協働しながら価値を生み出す力を育てることを重視しています。(次ページに続く)

大分立地

企業の成長につながる立地戦略

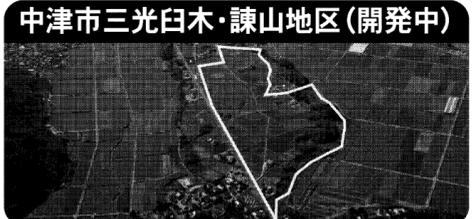


企業進出を全力サポート!

大分県が成長に最適な環境を提供します



日田市石井地区(開発中)



中津市三光臼木・諫山地区(開発中)



豊後大野市千歳地区(開発中)



日出町川崎工業団地

- 魅力1 バランスのよい産業集積
- 魅力2 人材確保に有利
- 魅力3 充実した交通アクセス
- 魅力4 継続的な支援
- 魅力5 カーボンニュートラルへ
- 魅力6 先端技術への挑戦
- 魅力7 ゆとりある暮らし

大分県企業立地推進課 TEL 097-506-3246
大分県東京事務所 TEL 03-6771-7011
大分県大阪事務所 TEL 06-6345-0071
大分県福岡事務所 TEL 092-721-0041
大分県企業立地ガイド 検索
https://ritt-i-oita.jp



未来を創る、産業集積地・おおいた

地域経済成長へ人材育成不可欠

―県内産業を振興する企業会についてうかがいます。

菅原 設立20周年を迎えた半導体産業を振興する企業会「大分県LSIクラスター形成推進会議」の会長を務めています。県内大手進出企業、地場企業の集積と得意技術の強みを生かし、産学官連携してQCD(品質、コスト、納期)において国際的な競争力を有する半導体生産拠点を目指しています。

半導体製造の前工程、後工程や装置、材料、商社まで幅広い企業が集積しているのが大分県の特徴です。当組織はハブ機能として、企業間連携や人材育成、情報発信に取り組んでいます。九州は全国でも有数の半導体産業集積地であり、なかでも大分県は九州内で重要な役割を担っています。引き続き県内外、海外との連携を通じて技術開発、人材育成、情報発信を行い半導体サプライチェーン、バリエーションの形成に貢献していきたいです。

山田 大分コンビネート企業協議会では、「物流」「ユーティリティ」「人材育成」「規制緩和」の四つの分科会とスマート保安・IoTプロジェクトチームで活動しています。大分コンビネートは鉄鋼、石油精製、石油化学といった各社が隣接しており、「酸化炭素(CO₂)の回収・利用・貯留(CCCUS)やカーボンリサイクルに必要なCO₂、水素の企業間連携、融通のポテンシャルが高いです。

強み生かしバリューチェーン形成



菅原 毅氏

性を構想として公表しました。同構想に基づき、25年にカーボンマネジメントなど具体化に向けたカーボンリサイクル調査を実施。26年度には県、コンビネート各社などとCCCUS推進委員会を新設して具体化に取り組み、企業、行政、地域が一体となって発展させていきます。

―産業集積の強みが浮き彫りになってきました。さらに魅力を高めるための課題や人材育成について議論を深めたいと思います。

菅原 今後発展が見込まれるフィジカルAI(人工知能)には頭脳に相当する高性能な半導体に加え、可動部(モーター)を制御・駆動する半導体が必要になります。モーター駆動半導体は当社の強い分野であり、ここを伸ばすことがポイントになると思います。

大分県LSIクラスター形成推進会議では11年以降、台湾、大分、熊本の3団体による商談会を実施してきました。14年にわたり約1074社が参加し、各会社の販路拡大の機会を創出しました。商談を進める仕組みづくりはできましたが、個社同士のビジネスにまでは、まだまだ難しい状況です。ただ、ミスマッチになったとしても市場の要求や改善すべきポイントの気づきを得られる機会となっています。これからも幅広い業種への呼び掛け、シズとニズのマッチングの精度を上げていきたいです。

半導体人材の育成は、産学連携して大学教授・企業技術者の協力のもと、基礎的な半導体概論から専門的な技術セミナーなどを実施。受講者のアンケート結果でも高評価をいただいています。課題は、半導体産業の全体像が分かりづらく、その業務内容や魅力が若い世代に十分に伝えられていない点です。半導体部品であり、最終セット製品ではないため仕事としてイメージしにくいことも感じます。小学生など早い段階から半導体に興味を持つ



山田 暢義氏

国際的な半導体生産拠点目指す

菅原氏

脱炭素社会の実現を全力で推進

山田氏

地域に根ざした人材循環実現を

村井氏

てもらえる教育の仕組みづくりが必要だと思います。―脱炭素化は高い目標設定があります。

山田 脱炭素化は、全方で取り組まないと時間があります。当社はロードマップを作成し、50年のCO₂排出ゼロに向けた中間目標を、35年までに20年目標で30%削減することにしました。短中期でエネルギー効率の向上、原料、燃料転換を、中期では廃プラスチックの原料化やCO₂分離回収技術、CO₂の化学製品化技術の開発に取り組んでいます。

ただ、脱炭素社会に向けた省エネ案件以外の施策は、大型の設備投資を伴うものやランニングコストが悪化するものが多く、進め方が難しい。解決策としては、国や自治体による補助金制度の確立、近隣他社と協力しながら進めていくことが不可欠だと思います。

26年度より排出量取引制度(GX ETS)が始まります。政府が一定基準のもと、対象事業者が排出枠を割り当て、排出枠の過不足に応じて事業者間で排出枠を取引するものです。CO₂削減を市場メカニズムで推進する環境政策ですが、各企業が今後、環境価値をいかに訴求していくかが大事になっていくと思います。

菅原社長からお話がありました。石油化学分野も人材の確保、育成が大きな課題です。その対策として25年度より、石油化学におけるプロセス開発などへの理解を深めるために大分大や大分県にご協力いただき、大分大での講演の機会をいただきました。26年度も引き続き学生への企業活動の理解と情報発信を進めていきます。

村井 当社グループでは、中期経営計画において「企業価値倍増への挑戦」を掲げました。付加価値の高いビジネスに挑戦するために人的投資や事業投資を着実に進めていきます。これまで培ってきたIoTや装置分野の技術を軸に、既存事業の深化を図り、新たな事業領域として、AIメント事業やロボット事業への投資・展開を進めています。

成長を目指す中で見えてきた課題は、スピード感のある事業展開や事業の高度化、多様化が進む中での人材の確保と育成。さらにAIとの共創が、これまで以上に重要になっています。特に技術の進化が早い分野では、専門性を持つ人材の育成と同時に変化に柔軟に対応できる人材づくりが欠かせません。

当社グループでは、若手のうちから実際の現場で経験を積ませることに加え、グループ内での人材交流や学びの機会を増やし、複数の視点を持った人材の育成に取り組んでいます。採用や育成は、さまざまな場面で学び働いてきた人材が地元で学び、経験を積みながら成長し続けられる環境づくりを意識することで、地域に根ざした人材循環の実現を目指しています。



産業集積を推進し大分県内を活性化すると誓った

50年の歩みを礎に、新たな価値創造へ

DENKEN
株式会社デンケン
本社：大分県由布市挾間町鬼崎688-2
TEL:097-583-5535
詳しくは当社HPを是非ご覧ください

デンケン 大分 検索

「伝える」プロ、そろっています。

佐伯コミュニケーションズ
企業・プランニング・デザイン / イベント運営
印刷全般 / デジタルコンテンツ / 各種調査業務
https://www.saiki.co.jp/

下町のナポリオン
むぎ焼酎
いいちこ

本格焼酎のベストセラーです。

「いいちこ」は
大麦・大麦麹100%と
清冽で良質な水からつくられた
本格焼酎です。
オン・ザ・ロック、水割り、お湯割り、
そして炭酸割りで。
磨きぬかれた深いうまささ、
お楽しみください。

三和酒類株式会社
〒879-0495 大分県宇佐市山本・虚空蔵寺丁
TEL.0978(52)1431(代) https://www.sanwa-shurui.co.jp

飲酒は20歳を過ぎてから。お酒はおいしく適量を。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に影響するおそれがありますので、気をつけましょう。飲酒運転は、絶対にやめましょう。

REALIZE 角ポスト金型で高精度プレスを実現

生産効率を最大化するハイエンド設計
業界トップクラスのガイド精度と剛性、低振動を実現
金型寿命の延長と精度を追求した安定した量産に貢献します。

- ① 角ポスト構造により、一般的な丸ポストに比べ金型剛性が飛躍的に向上。
- ② リテーナにはニードルローラの転動精度を高める特許技術を採用。
- ③ 新開発スプリング式プッシュで、ニードルローラ予圧を長期間安定化。

《転動循環による振動比較グラフ》

特設サイトで見積できます！
ダイセット特設ページへ

角ポストダイセット

FIG Future Innovation Group

ダイセット製品についてのお問い合わせはこちら
REALIZE 株式会社 大分営業所 097-578-6057 受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日祝日を除く)

大分県座談会 2026

世界と勝負する産業基盤

地域イノベーションを後押し 渡辺氏

地域共創をベースに域外へ挑戦 村井氏

各社とともに国際競争力強化を 山田氏

「人材を社会に輩出する大学としては、いかがでしょうか。」

渡辺 企業PRは小中高大と、それぞれの目線に合わせて訴求することの大切さを感じました。普段の生活から県内のモノづくりが学べるという点では、県作成の『おおいたものづくり発見ブック』は、よくまとまっています。

本学では入り口と出口をしっかりと見据え、まずは初等・中等教育から大学、大学院教育までをつなぐ「人材育成の生涯ループ」を実現しようとしています。

学生だけでなく、社会人のリスティングやリカレント教育を通じて、学び直しが当たり前の環境を地域全体で整えていくことが重要だと考えています。本学の意味では、開かれた学び場が必要ではないかと思えます。今後さらに産学官など連携を深めながら、一人が育ち、人が循環し、産業・企業や組織、そして地域が持続的に成長する大分モデルをともにつくってほしいと思います。

最後に大分県をいかに発展させ、未来を創るかについて、ご提言をいただきました。ありがとうございます。

渡辺 国内外に存在感を示す知の拠点として、大学がプラットフォーム(土台)となり、人が集い、学び、挑戦し、新たな価値が生まれる地域を目標に、その成果として地域イノベーションの持続性を高められればと思います。

地域課題の解決や地域イノベーションの創出のためにも、若者たちのアントレプレナーシップ(起業家精神)の醸成、起業や創業への後押しや教育、事業が軌道に乗るための支援などにも力を入れていきます。

本年度、経済学部ではF I Gさんと連携して、大分の課題をDXで解決するというコンテンツ形式の授業

未来を創る提言 グローバルマーケット開拓



村井 雄司氏

「現在、地域との共創をベースに、外の市場にも挑戦を広げています。北米やインド、タイといった海外にも進出しています。大分に本社を構えることで、お客さまや地域との距離が近く、事業を通じた誰かの役に立ち、喜んでもらえる手応えを実感しながら成長しています。その積み重ねが国内外で通用する競争力につながっています。今後も大分の一企業として、地域に貢献していきます。」

山田 「明日のくらしを化学で支える」をテーマに次世代石油化学カンパニーを目指し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。それには製品単位のCO2排出量を示すカーボンフットプリント(CFP)の算定で、CO2の見



渡辺 博子氏

「コトづくり」が付加価値を生み出す力 菅原氏

広域交通整備 広がる「半導体ベルト」 佐藤氏

「人材と情報が成長には重要です。」

佐藤 菅原社長がおっしゃるように、もっと情報を発信していきたいと思えます。25年12月に、世界的に有名な「ハローキティ」などが集う屋外型テーマパーク「ハローニード」を大分県日田町で運営するサンリオエンターテインメント(東京都多摩市)がリゾート化構想を発表しました。本県はモノづくり産業の集積に加え、豊かな観光資源を生かした分野でも多様な産業が根づいていることを感じています。

本日皆さんからお話を伺って、本県がさらに成長、発展を遂げるよう、これからも企業誘致や県内事業者の挑戦を後押ししていきます。多くの方が本県を訪れるように広域交通ネットワークの整備は必要です。TSMCの進出により九州が全国的に活力がある地域として注目されています。この機会に九州横断道路の整備を進めることで、アクセスが大幅に短縮します。

さらに、四国にも半導体関連企業は多数立地しているため豊予海峡が陸路につながる九州から四国、関西へとつながる「半導体ベルト」が広がります。

今後、世界と勝負できる産業基盤と産業競争力の高まりを受け、グローバルマーケットの開拓に取り組む、人材の育成・確保もスピード感を持って取り組みます。



「つくり、コトづくり」ができることが必要です。コトづくりは生活を豊かにする新しい付加価値を生み出す力です。また世の中にない私たちの生活を豊かにする付加価値を実現するには、新しい半導体産業として利用することになります。

「ありがとうございます。意見を交換しました。」

わたくしたちは大分県の発展がうれしいと思う信用組合をめざします

街へ暮らしへ気持ちいっぱい

大分県信用組合

けんしん は大分県の皆さまとともに歩み、金融を通じて地域社会の発展に貢献します

<https://www.oita-kenshin.co.jp>

つなぐ。支える。事業を地域を。

みょうばん湯の里

MYOBAN YUNOSATO BEPPU YUNOHANA SINCE 1725

協賛 16代目当主 代表取締役 飯倉里美

大分県別府市 明礬温泉 6組

JFC 日本政策金融公庫

創業 享保10年(1725) 江戸時代は、薬として使用されてきた「ヨウバン」を、明治時代からは、入浴剤「薬用湯の花」の製造地として300年

薬用入浴剤 湯の花・湯の花コスメ 露天風呂・貸切湯(硫黄泉) 温泉蒸しスイーツ

★「薬用湯の花」の製造技術 国の重要無形民俗文化財に指定

★別府・明礬温泉 国の重要な文化的景観に指定

鶴崎海陸運輸株式会社

代表取締役社長 疋田 功道

本社 〒870-0196 大分市大字三佐1000 ☎(097)521-6111

鶴崎海陸グループ

エステイクイテクノロジ株式会社 ナカノ建設工業株式会社
株式会社ホックス 西ノ洲環境株式会社
鶴海運輸株式会社 大分マリンサービス株式会社

つくるろう、世界に一つだけの「ばね」。

HPはこちら

CHK 中央発条工業株式会社

本社 〒877-8501 大分県日田市新治町503 TEL.0973-22-1112
広島営業所 〒734-0024 広島市南区仁保新町2-5-3 TEL.082-281-2834

人と社会の豊かな未来を創造する

モノづくりフェア 2026 九州最大級の産業総合展!!

会期 2026 10/14(水)~16(金) 会場 マリンメッセ福岡 A館・B館

10:00~17:00 最終日は16:00まで 主催 日刊工業新聞社 先着順!

出展募集中! 募集小間に達し次第 受付終了 申込締切 2026年6月30日(火)

■モノづくりゾーン ■自動車・半導体・航空宇宙ゾーン
■ロボット・AI・DXゾーン ■サステナブルゾーン
■3次元設計・プリンターゾーン ■地域イノベーションゾーン

日刊工業新聞社 西部イベント事業部 展示会事務局 〒812-0029 福岡市博多区古門町1-1
TEL 092-271-5715 (受付時間:平日 9:30~12:00, 13:00~17:00) monoinfo@nikkan.tech
詳しくはコチラ! モノづくりフェア 検索 <https://www.nikkanseibu-eve.com/mono/>